

校名：宇都宮大学教育学部附属中学校

所在地：〒320-8538 栃木県宇都宮市松原 1-7-38

電話番号：028-621-2555

記載日：平成 28 年 5 月 10 日

記載者：中村 靖之

記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について：

本校は、昭和 22 年、栃木師範学校附属中学校として設置され、60 年以上にわたり、教育の理論及び実践に関する研究並びにその実証を行うなど、先進的な教育を行ってきました。

また、「生きる力」を備えた人間の育成を目指す特色ある学校を、生徒と職員・保護者が力を合わせて創造し、発展させるという経営方針のもと、生徒たちが自己の能力と個性を十分に伸ばし、充実した学校生活を送れるよう、教育方法を工夫し実践しています。

さらに、教科学習をはじめとするすべての学校の生活の中で生徒が個性を伸ばし、成長の充実・安定と楽しさを味わいえるように努めています。また、生活上の規範や決まりを正しく判断し、勇気をもって実践できる態度を助長し、「セルフコントロールできる生徒」の育成を目指しています。

貴校の卒業生の活躍状況について：

追跡調査は行っていません。

本校同窓会が、本校出身の著名人がある程度把握しています。

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について

追跡調査は行っていません。

本校勤務経験者の教職員の会（同人会）があり、毎年総会・懇親会を開催しています。その中で、返信をいただいた教職員の近況報告が配布され、その方々の様子は把握できません。

勤務経験者のその後は、

- ・公立学校管理職として活躍
- ・教育委員会等で、指導主事として活躍
- ・公立中教研等で、部会長・事務局等など、地区のキーパーソンとして活躍

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

【大学との連携】

- 質の高い教員養成を行うための体制の充実
 - ・観察実習から事後指導にいたるまで、教育実習全般に関わるきめ細かな指導の充実
 - ・「教職入門」から「教職実践演習」まで教員養成体制の充実
 - ・実地講師として、教科教育法をはじめ教育実習に関わる授業の指導
 - ・教職大学院「教育実践高度化専攻」長期インターンシップ、教育学研究科「学校教育専攻」インターンシップⅠa、Ⅰbの受け入れの場として、授業に実践、生活指導、授業研究会の実施、大学院生の研究への助言等
- 大学教員と附属中学校教員との共同授業づくり

【学校園の連携・一貫教育】

- ・幼・小・中学校 12年間を見通した連携・一貫教育の研究
- ・幼・小・中学校のなめらかな接続に向けた、カリキュラムの開発
- ・幼児・児童・生徒の個別の教育課題に対応する支援体制の構築
- ・幼・小・中・特別支援の四附属学校園の教員と大学教員が8つの系に分かれての共同研究

【地域との連携】

- ・地域の教員の指導力の向上に貢献
 - 公開研究発表会の実施
 - 各種研修・講座の講師、指導助言
 - 公立校への指導助言
- ・地域の教育力の向上に貢献
 - 県・市町教育委員会と連携・協力
 - 地域と連携・協力
- ・研修の場を設定し、地域に貢献
 - 教員研修会の開催
 - 免許更新講習会の開催

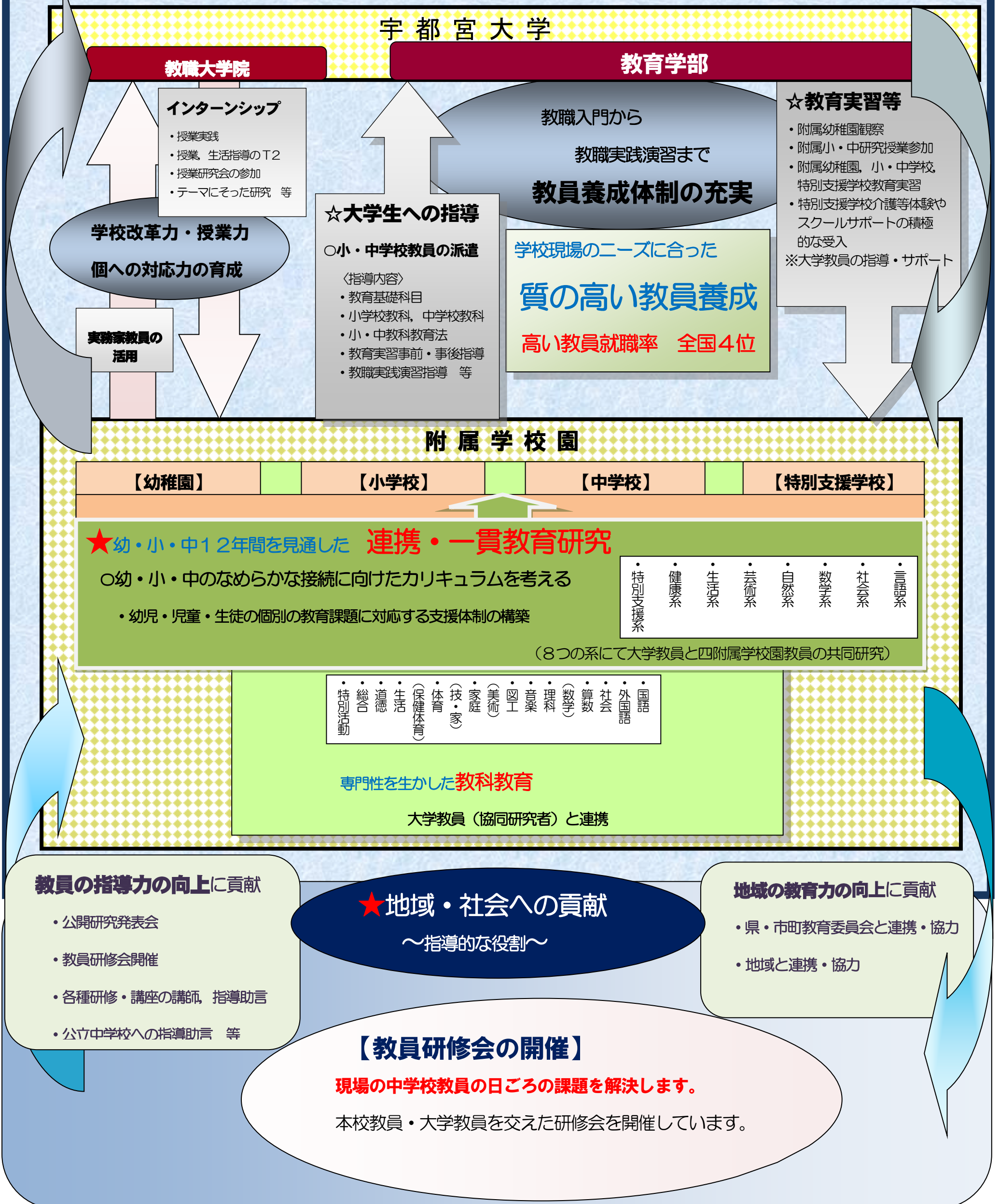
【外部人材の活用】

- ・総合的な学習の時間の中で、レストランオーナーシェフによる食育の授業
 - 食の大切さや食を通しての人とのつながり、シェフの生き方などについて講話や調理実習
- ・大学の留学生との交流授業
 - 総合的な学習の時間の一環で、大学の留学生とパネルディスカッションを行い、様々な国の方々の考え方を聞き、知見を広げる
- ・総合的な学習の時間の中で、宇都宮市福祉協議会の出前授業
 - 視覚障がいを持った方を招いて講話を聴いたり、アイマスク体験を通して福祉体験を行う
- ・特別活動で、ソニー生命のライフプランナーを招へいし、ライフプランニングの授業を行いキャリア教育の充実を図る

宇都宮大学教育学部附属中学校 特色ある取組

～21世紀という新しい時代を切り拓く人材の育成～

★質の高い教員養成の継続から充実へ



地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

地域の教育力活性化の核となる学校であり、「地域のモデル校」としての存在を目指しています。

地域の教育界との連携協力の下に、地域の教育のモデル校として、地域の教員の資質・能力の向上、教育活動の推進に寄与しています。

- 1 地域の教育委員会との連携
 - ・県、市が主催する各種研修・講座において、講師、指導助言者の協力をしています。
- 2 現職教員の研修カリキュラムの実施
 - ・地域社会との連携、地域社会への貢献として、第一線で教育実践にあたっている現職の先生方に参加していただき、大学教員や附属中学校教員との対話・協議を通して、日頃の先生方の課題の解決に資すること等を目的とし教員研修会を実施いたします。
- 3 附属学校の免許更新講習の場としての活用
 - ・免許更新講習会を、毎年夏休みに本校を会場に開催しています。講師は、大学教員と本校教員で、日ごろの実践をもとに討議します。
- 4 地域の核となって活躍できる人材の育成
 - ・本校の教育目標である「自主・合理・創造の精神と豊かな情操」の精神を尊び、自ら考え適切な判断をし、すすんで行動できる生徒の育成を目指します。本校を巣立った生徒は、やがて地域の様々な分野で活躍する人材となって社会を支えていきます。

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

本校は、次のような性格と任務をもっています。

- (1) 宇都宮大学教育学部及び大学院教育学研究科と一体となり、教育に関する理論的・実践的研究を行う。
- (2) 宇都宮大学教育学部学生の教育実習や観察実習等を行う。
- (3) 常時、県内外の参観者に対して、授業の公開等を行う。
- (4) 教育委員会から派遣された内地留学生等の研修を行う。
- (5) 地域教育との連携のために、公開研究発表会、研修会等を行う。
- (6) 文部科学省の要請を受けて、先進的教育研究及びその資料の提供を行う。

附属学校の使命は、目指すところ地域で、日本で、世界で活躍する「人を育てる」ことに尽きます。教育実習の場として、また地域の教育力を高めるリーダー的存在として、次代を担う人材を育成し続けていくことこそが、本校が存在する大きな意義であります。